

裏面白紙

宗

四十一世

宗

立案 大正十年一月五日
決裁 大正 年 月 日

宗秩寮總裁

宮内事務官



大臣



次官



官幣中社長田神社宮司赤川憲助
物名教位ノ件

二十三

一巻

一巻

大正十年一月五日
臺帳記入一五
報報告濟

(九大)

宮内省



官幣中社長田神社宮司赤川鯨助
特旨叙位ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正十年一月二十一日

内閣總理大臣原敬



内

閣

内位第八號
 案起 十年一月五日
 裁可 十年一月廿一日
 施行 年月日
 決定 年月日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官



官幣中社長田神社宮司正五位
 勲六等赤川勳助別紙内務
 大臣上奏ノ通功績顯著者
 二付特旨敘位ノ件上奏相成
 然心一シ

内閣

官幣中社長田神社宮司正五位勲六等赤川勳助
 特旨ヲ以テ位一級被進

正五位勲六等赤川勳助
 敘從四位

病氣危篤

めくれず

從四位 官幣中社長田神社宮司五位勳六等赤川巖助
 右者夙ニ勤王ノ志厚ク戊辰ノ役ニ
 丁リテハ長州萩藩ノ子弟ヲ率ヒ
 陽長隊ヲ組織シ其ノ隊長ト為リ
 各地ニ轉戦シ殊勲アリ後明治五
 年始ノテ宇和島縣權典事ニ任
 セラレ愛媛縣外ニ縣ノ大書記
 官ニ進ミ明治十五年ニハ内務
 少書記官同十六年ニハ秋田

内閣

縣令同二十一年ニハ東京府島
 司ニ歷任ノ間歷ヲ有シ其ノ後
 同三十五年ニ至リ官幣大社廣
 田神社宮司ニ補セラレ現ニ官
 幣中社長田神社宮司奉職中
 在リ格勤精勵能ク其ノ職ヲ
 竭シ功績洵ニ顯著ナルモ有
 之然ルニ今ヤ病氣危篤ニ瀕シ
 候ニ付従前ノ功勞ヲ被思召特
 ニ頭書ノ通位一級被為進度

右謹テ奏ス

大正十年一月二十日

内務大臣床次竹二郎

内閣

裏面白紙

内位 第八號

案起 十年一月廿一日

裁可 十年一月廿一日

施行 年月日

内閣總理大臣

Handwritten signature

内閣書記官長



内閣書記官 *Seal*

官幣中社長田神社宮司正五位勲六等
赤川懸助ハ別紙内務大臣上奏ノ通
功績顯著ノ者ニ付特旨叙位ノ件上
奏相成然ルヘシ

官幣中社長田神社宮司正五位勲六等赤川懸助

内閣

特旨ヲ以テ位一級被進

正五位勲六等赤川懸助

叙從四位

從四位 官幣中社長田神社宮司正五位勲六等赤川惣助
右者夙ニ勤王ノ志篤ク戊申ノ役ニ丁リ
テハ長州萩藩ノ子弟ヲ率ヒ陽長隊ヲ組
織シ其隊長ト為リ各地ニ轉戦シ殊功アリ
リ後明治五年初メテ宇和島縣權典事ニ任
セテレ愛媛縣外ニ縣ノ大書記官ニ進ミ
明治十五年ニハ内務少書記官同十六年
ニハ秋田縣令同二十一年ニハ東京府島
司ニ歷任ノ閱歴ヲ有シ其後同三十五年

内務省

ニ至リ官幣大社廣田神社宮司ニ補セラ
レ現ニ官幣中社長田神社宮司奉職中ニ
在リ格勤精勵能ク其ノ職ヲ竭シ功績洵
ニ顯著ナルモ有之然ルニ今ヤ病氣危
篤ニ瀕シ候ニ付従前ノ功勞ヲ被 恩召
特ニ頭書ノ通位一級被為進度
右謹テ 奏ス

大正十年一月二十日

内務大臣床次竹二郎



府縣	族籍	生年	姓名	職名	備考
山口縣	士族	天保十四年十月九日	敬三	赤川 龍助	
宇和島縣				任宇和島縣權典事	
大洲支廳				長中付候事	
宇和島縣				神山縣上改稱	
神山縣				被廢	
愛媛縣				任愛媛縣權典事	
庶務課				長中付候事	
正權典事				被廢	
愛媛縣				大屬	
上等月給				下賜候事	
補愛媛縣				七等出仕	
兼任				七等判事	
愛媛縣				權典事	
兼七等判事				如故	
九月十日				敘正七位	宮内省
免兼官					太政官
府縣				以下被廢	
任愛媛縣				少書記官	太政官
任愛媛縣				大書記官	左
其縣下野間郡宮脇村道路枯朽				官木伐採遷延爲ノ民家ノ破損ニ官	
損ヲ来ニ候段不都合ニ付謹書員ス					
敘從六位					宮内省
任福岡縣				大書記官	太政官
愛媛縣				大書記官	左
事務勉勵候ニ付爲其賞別紙目録ニ通下賜候事					
目錄				白編緋一疋	
依願免本官					左

一成社納

府縣	族籍	生年	姓名
福岡縣		滿九年六月以上	勤續退官三行
		現俸給四月半金六百七十五兩下賜	
太政官		十五年一月	任青森縣大書記官
左		十月	任內務少書記官
內務省		立日	取調局事務取扱申付候事
左		十六年二月	戶籍局長心得申付候事
太政官		三月	任秋田縣令
左		立日	月俸貳百圓下賜候事
宮内省		四月	敘從五位
賞勳局		十八年四月	敘勳六等賜單光旭日章
內閣		十九年三月	非職被仰付
左		三月	秋田縣令奉職中事務引継トシテ
左縣へ出張被仰付		二十年七月	任東京府島司
內閣		立日	敘奏任官三等賜上級俸
左		二十三年十月	依願免本官(諭旨)
內務省		二十五年二月	補官幣大社廣田神社宮司
左		二十五年二月	職制改正
		四月	俸給規則改正
內閣		二十六年二月	官幣大社松尾神社宮司被仰付
宮内省		二十八年四月	敘正五位
宮内省		二十九年四月	廿九年事件功俸金三百五十兩下賜
內閣		四十年三月	官幣中社長田神社宮司被仰付

一成社納

豆

別紙

官幣中社長田神社官司特旨叙位ノ件
上奏書進達又

大正十年一月二十日

内務大臣床次竹二郎



内閣總理大臣原 敬 殿

内務省

裏面白紙

238

めくれず

裏面白紙

十一世
四二ノ一

官幣中社長田神社宮司長佐藤宗孝

特旨ヲ以テ位一級被進

五位勲三等赤穂助

叙氏四位

右之通本日 宣下相成候條此旨及傳達候位記並
辭令ハ上ノ可及回送候也

大正十年一月廿一日

宗秩寮總裁代理 上勝之助

氏令佐赤穂助

宮内省

裏面白紙

内閣内位 八号

大正十年一月三十一日

内閣書記官



宫内事務官

御中

通牒

官幣中社長田神社宮司正五位勲等赤川龍助

右從四位

二被叙ノ義

本日御裁可相成候旨出張内閣書記官ヨリ
通知有之候ニ付發令方取計相成度

内閣

めくれず

裏面白紙

241

別紙位記竝辭令及回送候也

大正十年一月廿二日

宗秩寮總裁代理兼雷厲之郎

片岡春川 謹助

宮内省